

込んでいきたいというふうな考えはこちらは持っております。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 27年度にはマップができるということですが、一つ市長これも大事なことだろうというふうに思いますが、今年度取り組まれております内部支援員、外部支援員この内部支援員、外部支援員等々がやはり地域に入って活動されるわけですが、内部支援員は内部の方ですが外部支援員はその地区に入って活動をされるあるいは団体に行って話をお聞きするというようなところがあるというふうに思うのです仕事柄、外部支援員ですから。

そこら辺も視野に入れて、この防災もいろいろなことを聞かれるときもあるというふうに思うのです。ここはもし土砂災害が来たらどこに逃げたらいいと、そういうものはお年寄りの方が聞かれると思うのですね、そこら辺もやっぱり外部支援員さんにもわかるようにまたは、だからこれが地域マネージャー内部支援員、外部支援員が一体となってやらなければならないのでしょうけど、なかなかそう簡単にいくものはありませんので、そこら辺はみんなで一緒に取り組んで行けるようにしていければというふうに思います。

だから行政は行政のやり方だけでなく、行政も中に入ってやって、そして市民の皆さんと一緒にやって行くというのが私は一番大事だろうというふうに思います。だから行政は市民が安全・安心に暮らしを心豊かに生活できる環境をつくるために行政というのはあるというふうに思いますので、そこら辺も十分踏まえられて、今後、一緒になって一生懸命頑張っていきたいと思えます。ありがとうございます。

○議長（堀江 政武君） これで春田新一君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は2時からとします。

午後1時42分休憩

午後1時59分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 皆さん、こんにちは。本日は最後の質問でございます。ちょうどお昼過ぎの一番睡魔が来る時間でありまして、最後までよろしく願いいたします。

会派新政会の初村でございます。質問前に8月20日未明に発生いたしました広島市での集中豪雨により、土石流災害に遭われた多くの方々が尊い命を失われました。お亡くなりになられました皆様へ、心より御冥福をお祈りいたします。また、被災に遭われました多くの皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

私たち対馬市といたしましても万全とは言えません。対馬市も災害危険区域箇所等も百数十カ所あると先ほどの春田議員の質問にありました。市長もその対策は十分にとってあるというようなことでございますので一応安心はしております。日ごろから防災点検を行い、市民が安心安全で暮らせるまちづくりに、市長初め理事者側の今後の御活躍をお願いをいたします。

それでは、通告に従いまして、市政一般質問をいたします。さきに通告のとおり、3点について順を追って質問をいたしますので、よろしくをお願いをいたします。

1点目の、厳原漁火公園周辺の整備と温泉を活用した開発について。厳原観光道路沿いは、遠く九州本土を眺め、船の入出港等見える、美しい海の見える名所であります。現在、温泉を利用した足湯があり、その下に公園施設があります。市民の憩いの場としてなっていますが、公園、足湯付近の整備が行き届いてなく、雑草が生い茂っています。つけ加えますけど、今はきれいになっております。この前の土曜日のイベント前に、二、三日前に整備されておりましたので。日ごろからそのような景観には十分注意されて、市民がくつろげる公園にしてもらいたいと思います。

昨年の対馬市への観光客数は、県調査で約5万2千3,000人と聞いております。うち韓国の観光客18万人強とお聞きしています。日本人観光客は、差し引きますと30万強となっておりますが、実数はつかめていないようでございます。

韓国観光客も宿泊施設が足りず、日帰り客が増加していると聞き及んでおります。日本人観光客誘致、対馬市の物産の宣伝等に対馬福岡事務所も開設され、活動をしているところでございますが、まず対馬市は宿泊施設が十分ではないと思います。この観光道路付近には市有地もあり、一帯を整備して温泉を利用したホテル建設、企業誘致はできないか市長の見解を伺います。

2点目の、厳原天道茂の市駐車場内に旧みなと土曜市が行われておりました。その施設が平成9年に整備され、活用されていましたが、対馬市合併後、数年で自然消滅といえますか、現在は使用されておられません。施設としてはまだ新しく、何か有効活用はできないか、そのような考えはないか伺います。

3点目の対馬シイタケブランド化と販売についてお伺いいたします。

対馬シイタケ生産事業につきましては、平成18年度より「対馬しいたけとことん復活プラン」、平成23年度より「対馬しいたけやんこも再生プラン」、また平成26年度から「対馬椎茸“やる倍”ナバダス計画」と継続をして策定をされ、生産者には大きな力となり、生産に意欲を日々感じ、努力しているところでございますが、数年前の東日本大震災の後、原発の風評被害により価格が大幅に下落し、遠く離れた対馬市の生産者にも大きな打撃でございます。生産者は大変厳しい状況であります。

対馬シイタケは風味もよく、他の県のシイタケより品質も優れていると思います。市としても

年数回、大都市での販売・相談会等へ積極的に職員を派遣され、対馬農協とタイアップして販売力、単価の向上に指導をお願いしたいと思います。

また今年度限定で、シイタケ種駒・原木に国庫補助金がつくと聞いております。生産者、また新たに新規参入される方々に早目の周知徹底をされるようお願いをいたします。

平成23年度より緊急雇用創出事業で対馬シイタケ担い手後継者育成事業について、現状と今後の取り組みについてお伺いいたします。

私の質問は、これで終わりますが、市長の明解な答弁を求め、よろしくをお願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 初村議員の質問に答えさせていただきます。

まず1点目の厳原町東里の漁火の湯周辺のお話ありがとうございました。大変汚れている状況があるという御指摘でございますが、多くの方たちに使っていただいている空間だというふうに思っておりますが、そういう中、行き届かない部分があったんだなというふうに、また、これらについてしっかりと担当課のほうにも伝えていきたいと思っております。

自分自身、足湯ができたときの実は担当でございました。朝、出勤をして一番最初に足湯に飛んでいっておりました。ブラシをかけたり、それからお湯を張るというふうな作業をずっとして掃除をした経験がありますので、大変愛着のある場所なんですけど、そういうふうな状況に今なっているということで大変若干悲しく感じております。

この足湯そのものもさることながら、この温泉をあの野良周辺の場所を活用したホテル等に引き込んで、今困っている宿泊施設が不足しているのを解消することはできないかというお話でありました。この足湯の温泉施設ですけれども、これは平成16年度から稼働をしておりますが、源泉の温度が低いため、加温をして温泉スタンド及び足湯に利用をいただいております。燃料費に係る経費をいかに削減するかが課題となっております。その取り組みとして22年度から漂着ごみからつくるスチレン油を利用をしているところでございます。

また、この温泉水のホテル等での活用ということにつきましては、ホテルまでの配管工事に係る経費の面、それから温泉の温度を上げるための燃料費の面などから、近隣の既存施設でさえもその活用を見送っている状況でございます。

しかし、先ほど御指摘のありました昨今の宿泊施設不足というものを考慮しますと、この厳原地区においては、この野良地区にまとまった市有地があり、これらを活用していくということは第一に考えるべきことであろうと思っております。もし施設参入の意思がある場合、行政として三宇田の上対馬地区同様、温泉源が近くにあるということを利用して誘致に取り組んでいく時期が到来をしているというふうにも思っておりますので、初村議員がおっしゃられた部分について、念頭に取り組んでいきたいと考えております。

次に2点目の、天道茂の駐車場内の施設活用についてのお話がありました。御質問のこのみなど土曜市につきましては、当時の厳原において、地産地消の販売拠点施設というものになかったために、農林水産生産者と消費者との交流促進と生産意欲の増大を目的として、平成8年度に国庫補助事業によって天道茂駐車場内に農林水産物直販施設として旧町が建設をし、当時、厳原町漁協前でみなと土曜市を開催してたわけですが、そのみなと土曜市運営協議会というものが平成9年度より移転をして、19年度まで土曜市を開催をされておられました。これらを運営をしていた協議会は、厳原町漁協、阿須湾漁協、それと佐須地区の野菜生産組合、厳原町内の野菜生産者、農産加工業者等で構成をされ、毎週土曜日に鮮魚や野菜、一次加工品などを販売をしてきたところであります。

しかし、地産地消の機運の高まりに合わせて、JAにおいて潮菜館や、それから交流センターにおいて朝市、最近では厳原町漁協前の志賀鼻朝市等の生産者直売所がふえたことによりまして、また野菜生産農家の高齢化等により出店者が減少するとともに販売額も激減をし、土曜市の開催が維持できなくなり、閉鎖することとなった次第です。

現在、この施設は、先ほど申しました交流センターの朝市等に利用する商品陳列台ほか資材等の保管庫として利用をされております。

今後の活用につきましては、商品陳列台等の保管庫が近隣にないことと、当施設が駐車場機能に支障を来していないため、当面は現状のままで維持をしたいというふうに考えておるところであります。

次に、3点目のシイタケのブランド化と販売についてでございますけれども、議員が述べられたとおり、対馬のシイタケ生産というのは、東日本大震災の原発事故によるセシウムの風評被害、また食卓からのシイタケ離れ、あわせて旧態依然とした流通体制に漫然と浸っていたことが重なったこと等によりまして、消費者のシイタケ離れに拍車をかけ、単価が暴落し、生産価格を大きく割り込み、植菌を一時見合わせるなど、生産者の皆様は大変御苦労されていると聞いておりました。

また単価暴落対策として、昨年より原木生シイタケの出荷に取り組み、一定の成果はありましたが、やはり採取時期の問題や選別技術の向上が課題として上っておると聞いております。

こうした中、6月開催されました全農の干しシイタケ品評会において、豆殿の永尾賢一様御夫妻が昭和61年以来の農林水産大臣賞を受賞され、これを機に対馬シイタケ復活の弾みにしたいというふうに考えております。

また、対馬シイタケのブランド化の推進としまして、農林水産省所管の知的財産の地理的表示に関する品質管理基準等作成支援事業によりまして、長崎県しいたけ振興対策協議会から「対馬原木しいたけ」ということで応募し、承認を受けました。この事業は、先ほど申しましたように、

地理的表示が使用された地域特性を有する産品について、産地が当該産品の品質管理基準を定めること等により、産品の品質をより明確化し、産品の評価を高める取り組みを行うものであります。今後は、この制度を利用し、「対馬原木しいたけ」のブランド化に向けて、販路拡大に取り組んでいきたいと考えております。

このような中、担い手対策の部分でございますが、国の緊急雇用創出事業等を活用し、対馬原木しいたけマイスターを中心とした優良農家のもとで、シイタケ栽培の作業を体験しながら人材育成する事業に取り組み、平成20年度20名、24年度10名、25年度7名の育成を図りました。その成果として若い生産者も育ち、中には、シイタケ生産組合を発足させる担い手もあらわれるなど、現在もそのうち23名がシイタケ栽培に取り組んでおります。今後も担い手の育成には積極的に取り組んでいきたいと考えております。

また、国は今年度、原木シイタケの東日本大震災等の被害と干しシイタケの価格暴落対策として、「原木しいたけ再生回復緊急対策事業」というものを国のほうで創設をしていただきました。原木及び種駒等に補助することとなった次第です。この制度を活用して、シイタケ調理方法の開発と発信、また全国における物産展に出展をし、普及啓発を図るとともに、販路開拓による新たな顧客獲得、消費拡大、販路拡大に向けた取り組みを行っているところであります。

また、今年度の種駒支援、原木支援を活用した補助事業については、この制度の運用について、国のほうが各県との調整に時間を要し、先月末にやっと国の方針が固まりましたので、今月3日に開催しました対馬市しいたけ生産部会役員会に提案をし、承認を得ることができました。今後、生産者の研修会等を通じ、シイタケ生産者にこれらの周知利用を図っていきたいと考えております。

さらに、今年度から新たな対馬市シイタケ振興5カ年計画として、生産者のやる気を倍増、生産量を倍増、系統外出荷を倍増の三原則を基本とした「対馬椎茸“やる倍”ナバダス計画」を策定をし、生産から流通に至るまで一体となった取り組みを関係機関と一緒に取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうもありがとうございました。再質問するような事項もないようでございますが、なかなか前向きな答弁でございました。

第1点目で、そうしたらホテル誘致につきましては、市長も今後、考えていくというようなことでございますので、それはそれで結構だと思います。厳原とやっぱり上対馬のほうと2つ、どうしてもやっぱりホテルが必要やと思いますのでよろしくお願いをしたいと思います。

それと、この前の新聞で島おこし協働体ですかね、何かハマグチさんというて、すばらしい人

が今度採用されたようでございます。彼は不動産販売経験、特にホテル等の販売に携わった人と聞いておりますので、ぜひこういう方を利用して売り込みに励んで、早急な誘致ができ、開発ができますようお願いをしておきます。

どうしてもやはり対馬は、今からやっぱり観光業である程度の食べていくといえますか、そういうようなことをしていかなければ、なかなか伸びていかないんじゃないかと、人口減少にますます拍車がかかってくるんじゃないかと思っておりますので、今後の活性化のためにもぜひ進めていただきたいと思っております。

そして、漁火公園の整備ですけど、先ほど私が言ったように、1週間ぐらい前までは、てんで草が公園内も足湯のとも、もう私の腰ぐらいまで来るぐらい生い茂っておりました。やっぱりこれは日ごろから、子供たちが行っても子供たちが走れないような状況でございますのでですね、いつ行っても市民がくつろげるような場所に、定期的に草を刈るような方法を考えてもらいたいと思っております。行っても、子供たちはとてもじゃないが、走って回られるような状況ではございませんので。

私もちょいちょいあそこには足湯がありますけんがいきますが、足湯のところに行くにも草がぼうぼう生えておりますけんがですね、せめてそのホテルが、温泉施設がいつできるかわかりませんが、それが早急にできることからひとつお願いしたいと思っております。足湯のところに行く10メートルぐらいか、駐車場から。それがコンクリか何かでちょっと張ってもらえばですたい、それはできないか。ちょっとそここのところをお尋ねをいたします。その駐車場から足湯まで行く間、10メートルぐらいと思っておりますけど。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 実は、先週といえますか、漁火公園を活用、使って、巖原の若者たちが中心となって、名前が正式な名前、ちょっと憶えてませんが、ラブ・ミュージックフェスタとかいうのがあっておりました。その前に大雨が降って、一、二時間開始時間をおくらせてから、8時間、9時間のロングランのフェスティバル、ミュージック・フェスティバルを開催をするということで、私も夕方、上のほうから帰ってきて、のぞきに行ったんですが、そのときもその漁火公園自体もとてつもなくぬかるんだ状態とかなっておりました。

そして、もう一つ気がかりなこともありまして、さらに海側といえますか、そちらも園路があるんですけども、園路にも亀裂が入るとかいろんな問題があるというふうに思って、その周辺を見ましたけども、今おっしゃられた部分も含め、利用者の方たちがどのような使い勝手がよくなるのかということ、そして今言った亀裂の問題等については、あの施設全体の根本的な大きな問題が起こるやもしれないこともあろうかと思っています。それらを含めて、どのようなやり方をしていけばよいかということを検討をしていきたいと思っております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ぜひですね、精査をして、できることからやってもらいたいと思います。

足湯まで行く駐車場からの距離が、やっぱりいつも草ぼうぼうで歩きにくいわけですよ。2メートルぐらいの幅でそこまで行くような、行けるぐらいのコンクリでちょっと流してもらえれば、それは金もかからんと思いますので、それはぜひ早急にやってもらいたいと思います。

それと、私もちょいちょいつかりに行きますので皆様からよく聞くんですよ。やっぱり雨降りですね。雨の降ったときは、雨が打ち込んで、なかなかつかりにくいというような苦情も結構聞きますので、それを壁をするにはちょっと難しいかなっちゃうのも思いますけど、せめて、海側はそのままがいいと思いますけど、後ろ側を、上から下まではせんでもいいと思いますけど、どうかいい方法はないか、それもついでに検討はしてもらいたいと思います。

それと漁火公園の背後地ですね。背後地は数年前までは、たしかヒノキか何か植わったとと思うんですよ。それ今伐採をしてありますね。それわかりますか、背後地。道路があって道路の横のほうですよ。上に道があってですね、その下のほうです。

せっかくあの見晴らしがいいっちゃうか、伐採をしてあります。実際は昔はヒノキがあったと思います。それでそこに、せっかく伐採して、また雑木がぼうぼう生える状況にございますので、そのところでせっかくの背後地でございますので、公園でございますので、それにゲンカイツツジでも植えたらどうかなというように思いますけど、その辺の整備の考えをちょっと聞かせてもらいたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） あの場所の伐採というのが、旧焼却場の上る道路の下のことだと思えますが、そこから今度は海に向かっての面を、実は伐採を何年か前にさせていただきました。あの全体を明るくしようということと、もう一つは、あそこでお亡くなりになられる方があった関係で、それらのものを除却したほうがいいのではなからうかということもみんなで話し合っ、伐採をさせていただいたところでもあります。

今新たな提案として、ゲンカイツツジのお話がありました。先ほど申しました大きな亀裂の問題等を含めての中に、どのようにしていけばいいのかということの検討の一課題に挙げていきたいと思えます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） わかりました。それじゃ、ひとつ今後、検討して、できることから順にやっていってもらいたいと思います。

それともう1点ですけど、これは無理な話かもしれませんが、付近に温泉施設はできないか、

考えてないか、できないものか、そこのところ1点、聞かせてもらいたいと思います。難しいと思いますけど。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私ども市が単独でそのあたりを組み立てていくというのは、なかなか難しいだろうと思っております。先ほどの答弁で申し上げましたように、温泉源はこちらが持っておりますので、仮に参入していいんだと言われるようなホテル業の方がいらっしゃれば、それらをつくり込んでいただくことで宿泊施設の付加価値も上げていただきながら、市民の方たちも使えるものをつくり込んでいただくこと等をこちらの条件に挙げていくことを今想定していますが、いかんせん手を挙げていただく方が出ないことには始まらない問題だというふうに思っております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） はい、どうもありがとうございました。今後、検討して先に進むようお願いをしておきます。それでは、この件につきましては、これで終わりたいと思いますけど。

2点目の土曜市施設ですね。私はあれは何も使っていないかと思いや、きのうかな、ちょっと帰り、気になったものですけが、見てみたら、何か、きのう道具がいっぱいありました。今市長が答弁で言われたように、交流センターの朝市の施設が入ってるということですが、それはもうそのままで倉庫もなきやできませんので、それはもうしようがないと思います。私は何もなければ、もう解体して、元に戻したほうが、車も駐車場としても活用ができるかなというふうな感じで申し上げたとおりでございますので、それはそれで結構だと思います。

そして3点目ですね。市長のほうから、シイタケにつきましてもいい答弁をお受けいたしましたのでですね、今後の対馬シイタケにつきましては、いろいろ市長のほうからお聞きして、大変力強く感じております。

それで今、下原のほうに下原協業体っていうて、ショウエイさんが幅広くやっておられます。やはり、やっぱこの人はこの前、香港かね、香港の世界最大と言われる食品見本市にも出品をされたと聞いております。新聞等に載っております。やっぱりこういう、やっぱり対馬の商社ですよ、一つの。商社と考えると、こういう人を対馬のリーダーとして育てていって、対馬シイタケの販売のあり方に、市としてもやっぱりそういうような支援をしながら育てていってほしいと思いますけど、市長のお考えをお聞きしたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 下原協業体の中心メンバーでありますショウエイさんのことにつきましては、この何年間かの向こうの彼の動きというのは、まちで会ったときなんか話をちょっと



聞いたこともございます。で、そういう中、全国を駆け巡って出口のほうを探すことを一生懸命取り組んでいる姿、お話を聞いたところです。

そういう中で、私、当然なのかもしれませんが、私どもが甘えてるのかもしれませんが、東北のほうから東京を経由して福岡に帰ってくる。それはどうしても急ぎだから飛行機で帰ってきた。最後の便で帰ってきた。それから12時のフェリーに乗って、時間があるからまちを見ながらゆっくりって行って大きな荷物を空港から築港まで歩いて移動して、まちを見るのも勉強だからといって歩いて移動したって、2時間ぐらいかかったって言うておりましたけども。やはり何かその話を聞いたときも、すぐあす、次、翌朝からシイタケ、生き物ですから待って欲しくないということもあって、すぐ帰ってくる、帰るんだという、帰ってきたんだという話でしたが、ああ、やはりそこまでやる生産者っていうのを、みんながそんなふうになっていけば、対馬のシイタケそのものも底上げできるんだろうなと思って、そのとき話を聞きました。

その後、JAさんとのいろんなお話し合いもあったと聞いて、農林のほうからも報告は上がってきておりますけども、この価格が暴落する中でどのようにしていけばいいかということもJAさんと協議しながら、JAさんも大英断の中、新たな方向性を見出されたというふうにも聞いております。

そういう意味において、シイタケにおいて、今ショウエイさんの本当に強力なリーダーシップのおかげでこの一、二年はあるんだろうと思っておりますし、これからは行政としても、この下原協業体を含め、全体の対馬のシイタケ、先ほど申しましたように、いろんな認定等ももらっておりますので、しっかりと全国に向かって自信ある本当の本物でございますので、この本物をしっかりと私どもも応援をしていきたいと思っております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうもありがとうございました。

それと、あと1点お聞きしたいというか、報告したいと思います。これは昨年10月の新聞ですかね、これは、熊本県のあさぎり町というところがあるそうです、球磨川沿いにですね。そこが合併したんでしょう、いずれ旧役場を利用したシイタケ栽培、それに合併、学校の統合による旧校舎を利用したシイタケ栽培等をやっていると新聞に載っておりました。対馬市としても、この新規に参入する人たちが、もしそういうようなところがあったら、やっぱりぜひそれもひとつの方法だと思いますので、もしそういうような希望者があれば、積極的に進めていってほしいと思いますけどどうですかね。よろしく。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） それは遊休施設等については、そのその施設があります地区の皆様との合意の中で、担い手というのが本当で、これからの対馬にとって必要なんだということももち

らも訴えながら、地域の方々も理解をしていただける環境を整えれば、そういうことというのは十分に考えられるのではないかと考えております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 今後の課題として、新規参入者もおられますので、なかなかそのような施設をつくろうにも大変でございますので、もしそういう人が使われるようなところがあれば、ひとつ検討してもらいたいと思います。

時間があと7分ぐらいありますけど市長の積極的な答弁でございましたので、きょうはこれで終わりたいと思います。ぜひ今言われたことを胸に刻んで一生懸命にやってもらいたいと思います。

それと、市長も副市長たちも大変忙しい体だと思えます。業務による出張等は結構多いと思えますので、体には十分注意をされて、対馬市の発展のためによろしくお願ひしたいと思います。

これで私の一般質問は終わります。よろしくお願ひします。

○議長（堀江 政武君） これで初村久藏君の質問は終わりました。

---

○議長（堀江 政武君） 以上で、本日予定の市政一般質問は終わりました。あすは定刻より本日に引き続き市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後2時45分散会

---